

2014年度関東同窓会総会・懇親会

180人が元気に旧交

「交流と絆の強化」に数々の新企画



静中・静高関東同窓会の二〇一四年総会・懇親会が七月四日(金)、東京・日比谷の日本プレスセンターで開催された。来賓を含め約一八〇人が参加、旧交を温めた。同時に、同窓会メンバー間の交流拡大や絆の強化を目指し、様々な新企画が試みられた。

小雨ばらつく中、九〇歳を超える大先輩から二〇歳代の若者までが晴れやかな表情で集まった。来賓として母校の鳥居春仁校長、本部同窓会の荻野覚会長、事務局局長の三浦俊一先生、中部支部の加藤政幸支部長に出席していた。

冒頭、多賀谷会長が、関東同窓会として交流の場の提供に努め、社会貢献も目指しているなどと説明。「同窓生間の絆の強化」を呼びかけた。

鳥居校長には多彩な資料を使いながら静高の現状をお話いただいた。全日制生徒の「四割以上が女性」などの説明に、隔世の感を抱くOBも少なくなかった。また夏の甲子園出場に向けた熱意を示された(その結果もあってか、静高は今年の甲子園出場を果たし

た)。

続いて、岩手で震災復興の活動を続ける寺井良夫氏(92期)が、「同窓生が支えたSAVE I W A T Eの復興ボランティア活動」と題して講演を行った。

その後、会場を移動して懇親会に移り、まず荻野同窓会長が本部同窓会の様子も交えて挨拶。続いてプロのマンダリン奏者である川口雅行氏(82期)の演奏が行われた。



静中・静高 関東同窓会 会報

静中・静高関東同窓会
会報 第78号
平成26年12月15日発行
編集人 八牧浩行
(82期)



目次

- 2頁 総会・懇親会あれこれ
- 3頁 「震災復興活動」寺井氏講演
- 4頁 大盛況だった「古書コミ」
- 5頁 神宮球場で静高野球を応援
- 6頁 ハエッセー▽揚げば尊し
- 6頁 日本橋の倉庫をギャラリーに
- 7頁 たかが同窓会、されど同窓会
- 8頁 甦る70年前の国旗



全体写真

57期の岩井平一郎氏のご発声で乾杯した後は懇談。同期や前後の期の卒業生はもちろん、年次の離れたメンバー同士も、大いに話に花を咲かせた。料理も尽きた頃、追遠歌、校歌を斉唱し、次期幹事の93期にバトンを引き継いで、来年の元気な姿での再会を約して閉幕した。

冒頭で多賀谷会長が強調された交流の場の提供、同窓会メンバー間の絆の強化、社会的貢献への配慮という目標に沿う形で、今年の総会・懇親会は数々の新企画を試みた。その中身一覽は以下の通り。初めてのことであり思わぬ課題にも直面したが、調整を重ね実現にこぎつけた。

関東同窓会には毎年二〇〇人近くのメンバーが集まるが、時間の制約もあって全体写真を撮ったことは少ない。今年は「とにかく全体写真に挑戦しよう」「時間は三―五分で処理する」を目標に準備を進めた。

探り当てた撮影場所は、会場の日本プレスセンター・大ホールの二階部分にある同時通訳ブース。ここからなら誘導を上手く行えば、なんとか全員が入る。カメラは92期の仲間を声をかけて、性能の高い機種を探した。結果、質はとにかく何とか全体写真を仕上げる事ができた。来年以降のさらなる工夫を期待

するところである。

被災関連 「寄付+お土産」と「岩手の味」

寺井氏による震災復興関連の講演を踏まえ、賛同いただける方にSAVE I W A T Eの活動への寄付をお願いし、代わりにお土産をお持ち帰りいただく「寄付+お土産」企画を実施した。

寄付は一口一〇〇〇円、お土産はSAVE I W A T Eで被災者が生産する「復興ぞうきん」と和ゲルミ、被災地三陸海岸産のワカメなどのパッケージだ。

会場の日本プレスセンターは公的目的で設置された施設で、物品の販売ができない。このため「寄付+お土産」の形にするなど運営の工夫を凝らした。

企画には多数の方にご協力いただいた。この場を借りて感謝いたします。

懇親会の場にはテレビ番組「あまちゃん」で有名になった岩手・久慈市の「まめぶ汁」をはじめ岩手の特産品を用意した。また、津波で工場一階倉庫部分を流された岩手県九戸郡の三浦商店生産のしめさばを提供した。衛生面など調整事項も多かったが、こまめな連絡・調整の結

果、無事料理を提供できた。

プロによるマンドリン生演奏

川口雅行氏のご好意で、プロのマンドリンの生演奏が実現した。演目はバッハの「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第一番よりフーガ」と、武井守成作曲の「行く春」の二曲。マンドリンのソロ演奏は初めてという人も多く、十重二十重に取り巻いて聴き入った。

川口氏は静高マンドリン部出身。京都大学進学の後、プロ奏者の道を選ばれた。関西在住だが、総会のために駆け付けて下さった。

川口氏からは全出席者にCDのプレゼントをいただいた。改めて感謝いたします。

全体写真のメール配信とオンライン・アルバム

総会で撮影した全体写真を、希望者にメールで配信した。同時に、総会・懇親会で撮影した写真を「オンライン・アルバム」にアップし、希望者が閲覧やダウンロードできる仕組みも整えた。

いずれも、総会時にお知らせしたアドレスに連絡・登録したうえで、全体写真やアルバムに

アクセスするパスワードを受け取る。セキュリティの問題もあるため、手順が込み入っていたり、分かりにくい面もあったかも知れないが、ご容赦いただいた。数十人の方に活用いただいた。

懇親会の写真は約百枚をアップ。同期の仲間とのショット、何十年ぶりに再会した友人や知人との談話風景など笑顔にあふれた写真が掲載された。「想いの写真になる」などと、好意的な反応もあり、企画した幹事期としても大いに勇気づけられた。

総会・懇親会や関東同窓会への意見

写真配信のやり取りとともに、総会・懇親会へのご意見やコメントをいただいた。ありがとうございます。

古書コミ、岩手ツアー

古書コミについては、四頁を参照いただきたい。また有志参加で五月〇―一日に岩手ツアーを行ったが、内容は会報第七七号(平成二六年六月五日号)で報告した通りである。

(92期 日下 淳)

講演要旨

震災復興活動、静高の仲間が支える

寺井 良夫氏（92期）

総会では、SAVE IWATE代表の寺井良夫氏（92期）が講演した。盛岡市で地域開発のコンサル会社を経営する寺井氏は、震災翌日にボランティア

ユーモアを交えて語った。出席者は引き込まれるように耳を傾けていた。

講演の概要は以下の通り。

岩手の紹介

東工大大学院を卒業した寺井氏は、現地密着の地域開発・まちづくりを行いたいという希望から岩手のコンサルタント会社に就職した。以来、岩手の住民になった。「岩手は人も自然も本当に優しい」「静岡に似た面を感じることがある」と、冒頭

岩手を紹介した。

SAVE IWATE開始の経緯

SAVE IWATE開始の経緯

震災当日は停電でテレビも映らず、寺井氏は電気のない夜を何も知らずにのんきに過ごした。翌日、津波被害を知り、盛岡から三陸海岸の宮古市に入った。あまりの惨状に呆然とした。「何かやらねば」と、支援団体SAVE IWATEを立ち上げた。

静高の仲間の支援

試行錯誤の中で寺井氏は三月五日、静高の仲間にもメールを出して助けを求めた。以後、同窓生らが繰り返し現地を訪れ、支援物資の搬送や作業を手伝った。ゴールデンウィークには静岡から一泊四日の弾丸ツアーも現地を訪れた。その時、寺井氏は病院のベッドで、見舞いを受ける形に。

その後SAVE IWATEしずおかができるなど支援は続いた。静岡の仲間は、支援が途切れず、気兼ねがなく、心底やさしい。そして、「静岡の仲間の存在が、活動の支えになった」という。

SAVE IWATEの活動

SAVE IWATEは盛岡市中心部の「もりおか復興支援センター」内に事務所を持ち、学習支援、ボランティアのための無料宿泊、無料送迎サービスの提供、様々な情報発信、三陸復興カレンダーの発行を通じて岩手の文化の紹介と資金調達などの活動を行っている。また、被災者にぞうきんを縫ってもらい全国に販売する「復興ぞうきんプロジェクト」、支援物資中の古布をリメイクする「羅針盤チーム」、岩手の山野に育成する和グルミを活用する「和グルミプ

プロジェクト」などを展開する。

被災地のいま

震災から（七月四日時点で）三年三か月が過ぎたが、復興の歩みは遅く、先は見えない。いまだに八割以上の人が仮設住宅に暮らす。まだまだ支援が必要だ。

災害は日本のどこでも起こり得る。「災害の恐ろしさ、津波の恐ろしさを忘れてはならない」と強調した。

激励に感謝 盛岡に常設店

七月四日の総会から五ヶ月あまりが過ぎた。この間、SAVE IWATEは新たな活動を展開している。寺井氏にその後動きを報告いただいた。

関東同窓会では多くの先輩方から激励をいただきました。改めて感謝申し上げます。後日連絡をくださって支援をいただいている方もいらして本当にうれしく思います。

SAVE IWATEのその後の大きな出来事は、盛岡市内に常設店を持ったことです。盛岡市が開設した「もりおか町家物語館」という観光施設内の物産販売スペースの運営を任せられました。古い造り酒屋の大きな蔵を改装した建物で、三陸沿岸の



物産や被災者の方々の手づくりグッズなどを販売しています。一番の人気商品は和グルミソフトクリーム。和グルミの粒々もトッピングし、おしよゆうを少したらして食べます。絶品です。静岡の支援者の方がサーバーを寄付してくださいました。和グルミを日本酒にとかして作った「くるみのおさけ」も売り出しました。

三陸復興カレンダー二〇一五も販売中です。今年は英語版も作りましたので是非ともご利用いただければと思います。よろしく願います。

（カレンダーの注文方法等はSAVE IWATEのホームページ <http://sviwate.wordpress.com/>をご覧ください）

編集部注）

古書コミヴ

大盛況だった新しい取り組み

役員会



質実剛健の静高生らしい本が多く見受けられました。

「本当に本集まるのかしら?」という一抹の心配は杞憂でした。「売っているの?」というご質問が出るくらい「古書コミコーナー」には、本が集まりました(写真参照)。ざっと一五〇冊が手元を集まり、最後は段ボール1個に何とか納めて古本業者に送りました。

そのうち査定額がついた本は54冊。金額は二、五七二円となりました。年度で集計し、静岡高校へは、図書カードに換えたうえで、静中・静高関東同窓会として寄付いたします。何冊も

持参くださった方も多く、本日に当日重い本をご持参いただきありがとうございます。いろいろな方にもお手伝いいただきましたこと、感謝申し上げます。古書コミの本コーナーを囲んでわいわいがやがやと交換する期を越えたコミュニケーションも見受けられ、楽しい会話も聞くこともできました。

今回は、2015年2月20日(金)の幹事会で実施する予定です。また、引き続き次回7月総会でも『古書コミ』を継続実施いたしますので、その際には

会報にてお知らせいたします。初めての取り組みゆえ、行き届かない点や今後の課題も多くあり、役員会・理事会を通じて引き続き意見を出し合っておりま。

本を読み成長し、そしてその本で少しでも後輩への支援につながっていく、より意義のある本の循環と共に、同窓会の循環になっていくことを考えておりますので、多くの方のご参加よろしくお願いいたします。

【古書コミ】ちょっといい話 ①
期を超えたつながりのきっかけに

今回の同窓会では、新しい取り組みとして『古書コミ』がスタートした。読み終えた本・不要な本を寄付していただく仕組みである。しかし、単なる寄付では自宅の本を売り、換金のうえ、それを寄付いただければ済んでしまう。そこをわざわざ同窓会の日、持いただくには、それなりの目論見がある。

古書コミへの参加はもちろん自由。今回、古書コミコーナーでは、本のコンシエルジュよろしく、本の帯に感想やご自身の期を記載してもらうために、帯用紙とペンも用意した。

会報で読み知った方の何人かは、既に自作帯を用意していた。その場で帯作成いただいた方もいた。本を手にとってもらうためのキャッチコピー風もあり、また自分の思いを端的に記したものと見受けられた。

● ◎ ↓ ◎ 期 ◎ ◎ してこれば、来年、次回同窓会へ持参してきて欲しい。読み終えたら、ちょっと感想をプラスして、また古書コミに出して欲しい。自分にとって読み終え役目を終えた本でも、その本の使命は終わっていない。本がバトン

のように、同窓会を節目に、次々と手に渡って読み継がれていく。そんな風景を次の同窓会に見たい。という目論見である。

初めてというのに、既に古書コミコーナーで実際に平積みされた本を実際に手に取り、同窓会開催前にロビーで、わいわいと本を囲んで談笑が始まった。

そこは今回は初めての取組みなので、最初は、何?という具合、それから手にとり、これ読んだ、私もと会話が繋がっていく。

その中の1冊の本の帯のコメントの中には『若い女性に読んでほしい』というものがあつた。若い女性とはいったい何歳? ちょっと手に取るには憚れるという雰囲気が一瞬流れると、では自分の孫娘にと△期の男性同窓生が手にとった。:

それは確かに若い若い女性: 「こちらが、この本の提供者ですよ」と声をかければ、△期の男性と本を提供した○期の女性がその場で本を挟んで握手。本にうれしい一コマ。本によって期を超えてつながった瞬間でもあつた。

【古書コミ】ちょっといい話 ②

『日本人の美意識』

ドナルド・キーン 著

某先輩と古書コミで本を交換

し合い手にした本は、ドナルド・キーン氏著『日本人の美意識』。震災支援活動をしている92期の寺井良夫氏の講演内容と震災後二〇一二年、日本へ帰化し、本の売上を支援活動にと提供しているキーン氏の本との出合いに縁を感じた。

確か、本来は中国語に興味があつたが、安売り中の『源氏物語』の本を入手したのが日本文学への啓示であり、そしてその後の研究につながっていると何か聞いたことがある。北区王子で開催された氏の足跡展示展では、その本が展示されていた。手にする気持ちがあつた。装丁が美しく思わず手にする気持ちが。本は中身ばかりではなく、本そのもので読み手を引き寄せるのだ。

本との出合いの別のエピソードが『日本人の美意識』に記述されている。学問に対する真摯な気持ちと恐れ、同時に茶目っ気のある氏の人物像が浮かびあがっていて偶然とはいえ、古書コミで手にした本らしい印象深いエピソードである。

『一度私は、コロンビア大学の大学院生だった頃、ある日図書館書庫の中で、日本文学の棚の前に立って、見慣れない本の本の行列を、憂鬱な気分で見渡しながら、こう思ったことを憶えている。(略...) 熱心に日

本語の勉強に専念しても、とて
もこれだけの本を楽々をよみこ
なすことは、永久にできないだ
ろうと。だが、次の瞬間、別の
考えが急に私を襲った。』

『もし今眼をつぶって、書棚
からどれでも任意の本を一冊取
り出す。するとその本は、西洋
の歴史始まってこの方、誰も読
んだことのない本にちがいない、
と私は思ったのだ。』

そこで、エイヤッと、キーン
氏が手にした本は、『平田篤胤』
の全集の中の1冊。そしてその

本がすらすら読めたのだった。
私は早速、近所の図書館で検索
したが、『平田篤胤』の本は蔵
書にはなかった。もはや日本人
にとっても身近な本ではなかつ
たのだ。

来年は読み終えた『日本人の
美意識』に別の本をプラスし提
供予定。他の同窓生に読んでも
らうおう。お互いに本との出合
いの誘い水になればうれしい。
そして私はまた別の本との出合
いを楽しみにしている。

90期 山下 雅子

神宮球場で熱い声援 来年春に期待！

静高野球部が今年秋の東海四
県大会を制して、東京・神宮球
場に雄姿を見せました。三塁側
スタンドには静高ファン約五千
人以上が集結。関東同窓生も各
期、クラブごとに陣取って、静
岡からの応援指導部・吹奏楽部
の現役生・御父兄・OBらと一
体となって熱い声援を送りまし
た。

です。試合は、東京代表の東海
大菅生高校に惜敗しましたが、
春に期待しましょう！

岳東 健児

抜けるような青空の下、都心
のど真ん中の神宮で静高野球を
応援するのも、草薙や甲子園と
違った趣きがありましたね。数
十年ぶりに出会ったという同窓
生も多く、試合後各所で懇親会
が開かれ旧交をあたためたよう



『冬の総会』幹事会を2月20日(金)に開催 第2回「古書コミ」も行います こぞって参加を！

静中・静高関東同窓会の各期
幹事会を開催します。『冬の総
会』に位置づけられる会合で、
楽しく有意義な会です。各期ご
とに多くの同窓生のご参加をお
願いします。

今回は春の選抜甲子園大会出
場が内定している静高野球部に
ちなんだ企画(有力OBによる
予想解説など)も計画したいと
思います。

14年7月の総会からスタート
しました「古書コミ」の第2回

も併せて実施します(4頁ご参
照)。

日時 2015年2月20日(金)

午後6時30分～8時30分

会場 日本プレスセンタービル

10階ホール

会費 4千円

ご参加は各期幹事、もしくは

FAX 03-3257-9820

(静中・静高関東同窓会事務局)

まで。各期幹事の皆さん、多く

の同期生をお誘いください。

世代を超えた同窓の絆 奮って参加を!!

1月23日に第10回異業種交流会

静中・静高関東同窓会の異業

種交流会は、2015年1月23

日に第10回目を開催します。毎

回多くの方々にご参加いただい

ております。楽しく有意義なひ

と時を共有しましょう。ツイッ

ターでも発信されています。

「静中・静高関東同窓会」異業

種交流会@Glenfidich1208

さらに交流の輪を広げていきま

しょう。

日時 2015年1月23日(金)

午後6時30分～8時30分

会場 日本プレスセンタービル

日本記者クラブ9階会議室

会費 4千円

ご参加は下記にご連絡ください。

E-mail Kkasamatsu-rep@

wine.ocn.ne.jp

もしくは

FAX 03-3257-9820

(静中・静高関東同窓会事務局)

してください。

異業種交流会事務局

笠松 一久

石(墓、石碑)のことなら (株)イシフク

- 望月 威男 (77期)
- 熊野雄二郎 (84期)
- 望月 茂樹 (101期)
- 望月 秀康 (107期)

〒421-1224 静岡市葵区飯間 71
TEL 054-278-6610

関東の人に紹介したい良い環境

八王子

東京霊園

〒193-0826 東京都八王子市元八王子町
TEL 0426-61-6734

○お墓、石碑、建材、石のことなら気軽に相談ください。

エッセー

仰げば尊し

64期 増田 政雄

け残った工作室に間処校長先生とご家族が避難しておいででした。

間処先生の思い出の一つ。

私たち六十四期は一九三〇年生まれで一九四三年に静岡中学に入学、三年生の時に終戦です。NHKドラマ「花子とアン」を見て、主人公の皆さんと経験が重なって他人事ではありません。私は焼津東小学校で汽車通学でしたから六月十九日の夜、「静岡が燃えている」ということで夜の浜辺に出ると、大崩海岸の空の上は真っ赤でした。翌日、東海道線は不通、学友たちと一緒に歩いて静岡中学まで行きました。安倍川の鉄橋あたりから死体がゴロゴロしていて、母親が子供を抱いたまま真っ黒焦げで死んでいる姿など恐ろしい、を通り越して「地獄図絵」とはこのことかとの思いでした。あの光景は目に焼き付いて死んでも忘れられないと思います。この静岡大空襲は静岡静高同窓会報一三五号に六十七期の大石君が詳しく書かれております。焼夷弾一万三千発、死者千九百五十二人、負傷者五千人とのこと

です。焼野原になった校庭で一つだ

焼津から名門静岡中学に入れたというところで、油屋の巻田君の父親と魚屋の私の父親とが付き添って入学式に出てくれました。入学式の校長先生の話に世阿弥の風姿花伝が出てきて、「初心忘れるべからず」というのを父が気に入って、家に帰るなり板を持ち出してきて、「初心」と書いて見るとところに張り出しました。小生が東京に出てからもかなり家があったようです。父には父なりの感動と子供に対する期待があったのでしよう。

六十四期には、学生たちに「懐かしく思い出される忘れえない先生方」が多いです。指導教官の佐野中尉殿はご息も在学されていて、毎年東京同窓会（七月七日）を続けさせて頂いております。佐野教官が私たち三年一組を引率されて、焼け跡をよく見て歩かされました。「この惨状をよく見ておきなさい。二度とこういう戦争をやっではないいけない」。さらに「日本は文化国家を目指すべきだ。再び太平洋でアメリカを相手に雪辱戦をやりたいと考えてはなら

ない」ときつく教えられました。卒業も近づいたころ、英語の飯田先生が「今日は最後の授業になるので、僕の個人的な読書の話を書いてください。君たち夏目漱石を読みましたか。私は漱石が好きで作品はほとんど読みました。繰り返し読むうちに人生にとって大事な教訓を得たように思っております。『ころ』『道草』『明暗』など晩年のものはわかりにくい所もありますが、『吾輩は猫である』や『坊ちゃん』など初期のものは軽く入って行けますから、とにかく夏目漱石を読んでください。きつとあなた方の人生にプラスになることと信じています」と話してくれました。

今、朝日新聞が『ころ』を連載しているのを興味をもって読んでいますが、その都度「飯田先生の英語でない最後の授業」のことがよみがえってきます。素敵な先生の話、書き出したら切りなし。

私たちの青春を育ててくださった静岡中学・高校の諸先生方に心からの感謝を捧げて、この文の終わりにさせていただきます。

関東同窓会に同期会会計残額を寄贈

67期 小杉 弘

静中・静高67期（昭和20年入学―26年卒業）は、傘寿を過ぎ、各自多かれ少なかれ、老化進行をしている。平成25年4月15日、67友楽会（関東在任の67期同期会）が、新宿・謝朋殿で開催された。会員23名中19人が出席した。

関東同窓会に全額寄贈すること、全会一致で決定した。よって、平成25年7月5日開催の関東同窓会総会時に手渡すことになった。この件、同期生に周知徹底のため、関東同窓会報に記事を掲載してお知らせします。△編集子より△不手際により掲載が遅れました。深くお詫びいたします▽

日本橋の築85年の倉庫をギャラリーに

94期 石川 雅英

ていた時期でした。個人で、ギャラリーを設けるのは、身分不相応なのですが、思い切って、2階を若い作家を応援するためのスペースとしました。

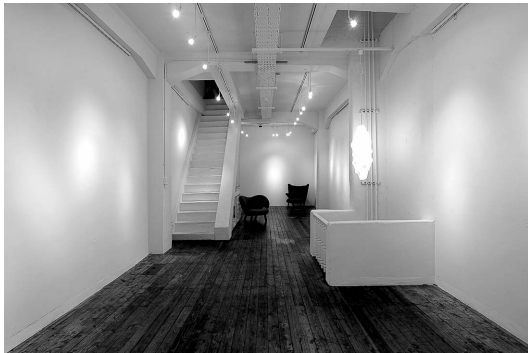
東京・日本橋の建築後85年になる古い鉄筋コンクリートの倉庫をコンバージョン（用途変更）して、1階・カフェ、2階・プライベートなギャラリー、3階を本業の建築設計の事務所にしてあります。東京のご真ん中に奇跡的に残って、廃墟と化していた古い倉庫を、偶然、発見したのは、10年程前でした。ちょうど、大手ゼネコンから独立して、設計事務所を立ち上げようとし

私は、大手ゼネコンの設計に20年在籍後、二〇〇五年に独立し、建築設計事務所を主宰しています。普段は、ホテル・旅館を中心として、大きなビルから、小さな家具まで、幅広くデザインをすることを本業としています。保存問題にも興味があり、銀座の交詢社を初め、既存建築の良いところ活用しながら、建築を造る実績を重ねています。その事例にのって、「先ず隗よ

り始めよ」の故事に倣い、自分のオフィスを保存建築物の活用事例とした訳です。この3月に竣工しました三井ガーデンホテル京都新町別邸では、建物の店構えを一部保存・復元、移築など様々な保存技術を活用したことが評価され、今年の京都デザイン賞の大賞をいただきました。私のギャラリーは、20坪ほどの空間なのですが、元倉庫ということを活かし、天井が高く、床は80年間使いこまれたヒノキの縁甲板仕上げというNYのソーホーのような空間になっていきます。小さな空間ですが、「作家の作品の発表の場」と位置づけしており、この10年の間に、写真、家具、書、焼き物、織物、風呂敷、人形、建築、映画（ミニシアターのようにしたので）、商業ディスプレイ、多様なジャンルの若手の作家から、大御所達の展覧会を開催してきました。年に数回、自らプロデュースした企画展も開催しています。過去に、バーニーズジャパンのウインドウデザインの世界を表現したもの、北欧の椅子、私自身のインテリアデザインのスケッチなどをテーマにしたものの展覧会を不定期に開催しています。時間の許す限り、美大の卒業展覧会にも足を運び、新人発掘に

も力を注いでいます。私のギャラリーが発で、後に大作家が生まれることが夢で、この酔狂な道楽をしています。展覧会を開きたい方は、自薦・他薦を問いませんので、ご興味のある方は是非、下記アドレスまで、ご連絡ください。最大限の応援をさせていただきます。と思っておられます。何人ものアーティストを見てきておりますが、個展という節目を、毎回乗り越えて成長していく姿を見てきています。実力がついてから、個展をと云って悩んでいる若い方がいたら、「個展」をすることで、成長出来るのだと、背中を押してあげてください。

architectsoffice@cotton.com.ne.jp



たかが同窓会、

されど同窓会⑨

ふたりの同窓会

71期 浦田 彰

ご覧になっただろうか、二〇一四・八・一〇放送NHKスペシャル「狂気の戦場・ペリリュー」忘れられた島の記録」を。フィリピン沖に浮かぶ孤島ペリリュー。ここで繰り広げられた攻防戦、日米両軍の余りの悲惨な戦闘が太平洋戦争での最悪な戦場とされ、米軍による詳細な記録が残されたにも拘わらず、今日まで公開されなかったという。上陸した米軍2万、日本軍守備隊1万。双方弾を撃ち尽くし、銃剣での殺し合い、最後のバンザイ突撃で生き残った日本兵は30人。目を覆いたくなくなったキュメントだった。しかも、この殺戮戦はサイパン、グアムが墜ち米軍の沖繩上陸が目前という時点であり、戦場は遙か北方に去り、日米とも何ら戦局に関わりの無い空しい戦いだったという。

その日、私は番組を観ながら、ペリリュー？ どこかで聞いた名だ？ 何時？ どこで？ そうだ、40数年前、夕方の情報番組を担当していた頃、渋谷の放送センターからの帰り道、今日の反省、明日の打合せと、ギリギリ頭と身体を絞っていたその頭と身体を冷やそうと通っていたゴールデン街の呑み屋。たしかサカエといったか。カウンターに5人も座れば満席。先輩、同僚、後輩、絡み合いながらの毎夜々々。そこへ、これも毎夜のように顔を出す流しの二人連れがあつた。ひとりはギター、たしかサイトーとかいった。静かな饒舌家ぶりを憶えている。連れはアコーデオンでタクさんとか、無口だった。あの北島サブちゃんと一緒に流したこともあるという二人。3曲千円、演歌好きの我々と歌い且つ語り、二人とも50代の戦中派。歌の合間の話は自然にあの戦争の話になる。二人は陸軍二等兵として同じ部隊で戦い生き残ったという。ナンとかという南の島の戦場は凄まじく火炎放射器に焼かれ、機関銃に薙ぎ倒され、餓えに曝され、玉砕覚悟の毎日、よくまあ生き残ったものよ、としみじみ語ったものだった。

そうだ、いつの夜だったか、サイトー氏がその島の名前をペリリューといった、ような気がする。そのときは、南太平洋のどこかの島だろうと気にも留めなかつたが。今でも信じられない。まさかあの30人の生残りの二人とは。生還後の二人の生き様を聞いてみると、戦後直ぐに連絡の取れる生き残りの十数人で戦友会を作った。いずれも戦災で親族を失い、郷里とも音信不通、孤独な引揚げ軍人だった。そこで彼らは、手取り早いタツキの途として汚れた白衣を着て国電の中や街頭でアコを弾き軍歌を歌い、なにがしかの日銭を稼いだという。(焼跡の路傍でそんな「白衣の傷痍軍人」よく見たものだ)。そんな彼らの戦友会は戦後復興の波に？まねながら、一人去り、二人散ってギターとアコの二人になった。それから、身についた芸のお蔭でコンビを組み、夜の巷を流して歩く日々。歌の合間に問わず語りそんな人生を語りながら、陽気に騒ぐ我が仲間と話を合わせてくれたものだった。彼らもまだ若かったし、我が仲間はずっと若かった。

それから二十年。二度の地方勤務を終えて渋谷へ帰ってきたある日、もう夜の巷に出没する元氣なしと、ゴールデン街の帰路、信号待ちの群れの中にギターを背にした人影、何と、あのサイトー氏ではないか。懐かしさのあまり街角でしばしの語りあり。七十四歳の老演歌師は今でも夜を流しているとか。でも、あのタクさんは？ 二人で吉祥寺のアパートで暮らしている。ただタクさんは足腰が弱って、それに肩の戦傷が痛み出して仕事には出られない。辛うじて軍

人恩給で生きています。そんな戦友を見捨てられない、だから同居している。「戦友」と老演歌師はいった。

それから更に二十年。もう渋谷に出かけることもない。群れ集ったサカエもない。サイトー氏の消息もタクさんの行方も知らない。それでも、彼らの人生を決定づけた「ペリリュー」と「戦友」という言葉はどうしても忘れない。

二人と一緒に、いつも歌った歌がある。なぜか歌詞の3番を思い出してならない。

♪熱い涙も 故国に着けば
うれし涙と 変わるだろ
鷗ゆくなら 男のころ
せめてあの娘に つたえてよ

「かえり船」(昭和21年)

詞・清水みのる
曲・倉若 晴生
歌・田端 義夫

関東同窓会費納入のお願い

関東同窓会は会員の会費(年間3千円)で運営されております。同窓会会費の集まりは多いとは言えません。同窓生、同期生に声を掛け合い、ご協力をお願いします。同封されている郵便局振込用紙をご使用ください。

64期関東同期会 甦える七十年前の国旗

64期 野澤 正憲

恒例の関東64期会を、七月七日いつもの場所「道灌かがり」で開催した。

参加者は、準会員の69期松島玲子姫を加えて十二名、年々淋しくなったが、出席すれば皆元氣、身体は衰えても口は達者な連中ばかり。

野沢会長挨拶のあと、「復興ぞうきん」の紹介に続いて、みんなの近況報告が終る頃、増田政雄君遅参(毎年この頃合いの登場)(来年はもう一寸早く来てネ)。

今回全員の耳目を集めたのは『七十年前の国旗』。



石川啄木は、己が名をほのかに呼びて 涙せし

十四の春に

かへる術なし

と詠んでいます、恋の歌とは一寸異なりますが、「かへる術」がありました。

村上喜代二君の予科練入隊に際して、当時の間處武夫校長は

じめ全教員、十四歳の同期生の肉筆がずらり……。

「よく残しておいてくれたなあ……」と皆感激、感慨一入。

「戦争がもう少し長引いていたら、この旗は村上と一緒に突入していた訳だな……」

「十四歳にしては毛筆を上手に、いい字を書いている……」などの言葉が飛び交う。

当時の十四歳の心境は、現代の若人には理解出来ぬ事ではあるが、兎に角、この国旗は全員を純朴な十四歳の昔に帰してくれました。

当時は「これが今生の別れ」と、皆決死の覚悟でした。

「今の子供たちにこんな気持ちを味わせたくないよナ……」が八十歳代半ばのオジイサンの気持ち。

64期の文化財とも言える貴重な品、これからも大切に、未だまで保存してください。

入学時二百五十人余、今日こ

こに関東の元氣人(ゲンキビト)十余人、みんなよく集ってくれました、来年もまた元氣で会える様、健勝を祈ります。

「来年の会費を今日集めたら、出席間違いないだろうな!!」、と誰やらの無責任な発言もあったが、誰一人首肯する者なく(当り前だよナ)、来年の再会を約して散会した。



67年目の「江の島会」

和氣藹々と開催

幹事 82期 富坂 修

静中静高同窓生が集う江の島会が9月28日(日)に開催され、老若男女63人が参加。老舗旅館の大座敷で美味しい料理と銘酒を堪能しながら、歓談の輪が広がりました。

江の島会は67年前、旧制静中の有志が集まり始めた会で、以

来毎年、江の島に集まり続けてきました。会場はずっと藤沢市江の島の老舗旅館「恵比寿屋」です。毎年のように、母校校長先生、同窓会長らのご出席をいただき、大いに飲み且つ語り合おう楽しい会です。とりわけ、卒業年次に拘らず、先輩後輩入り乱れて和氣藹々と楽しく語りあえる雰囲気は江の島会ならではのいえましよう。

来年も9月27日(第4日曜日)に開催します。是非、誘い合わせでのご参加を!

(ご連絡は左記メールアドレス)まで tomy_@kanakuranet.ne.jp

幼児教育に新しい風を



代表取締役 久野泰可 (83期) 取締役 久野淑子 (83期)

本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
TEL 03-3463-3815

2015年度関東同窓会総会・懇親会

7月3日にプレスセンターで開催!

2015年度の関東同窓会・懇親会の日時と場所が決まりました。是非ご出席ください。

日時：2015年7月3日(金) 午後六時より
場所：日本プレスセンタービル 日本記者クラブ10階大ホール
東京都千代田区内幸町2-2-11
(地下鉄・内幸町、霞が関、虎ノ門各駅から徒歩2〜5分、JR新橋駅から徒歩10分)

多くの同窓会員の皆様、また就職を控えた学生OBの方々にも多数参加いただけますようお願い申し上げます。講演会の内容等、随時ホームページ、会報で掲示させていただきます。
幹事期 93期

編集後記

▽今号は盛況だった7月総会・懇親会の特集号となりました。数々の新企画を立案し実行していただきました。幹事期92期の皆さんに感謝します。初めての

「全体写真」、カラーでないのが残念ですが、全員明るく楽しそうですね。静中静高関東同窓会ホームページに大型カラー版を掲載しますのでお楽しみに。

▽静高野球、神宮球場デビュー(5頁)の次はいよいよ春のセンバツ甲子園です。2月20日の「冬の総会」各期幹事会(7頁)では校歌・逍遙歌を斉唱して「センバツ大会」勝利を期しましょう。各期ごとに誘い合ってください。多くの同窓生が参加するようお願いいたします。

▽この各期幹事会の場で7月に続いて「古書コミ」(4頁)を開催します。本を通じた同窓生の輪がさらに広がるでしょう。

▽今号から新しい広告が6枠分も追加されました。出稿いただいた方々に感謝いたします。さらに募集中ですので掲載ご希望の方は上記にご連絡ください。(八牧)

◆原稿・写真を募集します!

静中・静高関東同窓会の本会報(年2回11月6日、12月発行)とホームページ(随時更新)は、同窓生と関係者が老若男女問わず行き来する「情報広場」「ニュース交差点」です。関東での同期会等の開催、同窓生参加イベント、同窓生の活躍ぶり、エッセイなど、お気軽に投稿してください。ファイル添付で以下のメールアドレスにお送りいただければ幸いです。郵送の場合は左記関東同窓会宛にお願いします。

会報は Yamaki@reordina.co.jp(八牧) ホームページは ishkikawa@yu-to.jp(石川)

静中・静高関東同窓会事務所 東京都千代田区神田鍛冶町 3-17-13 藪下ビル6F 野方法律事務所内

Lighting For Your Safety

Koito

http://www.koito.co.jp

安全を光に託して

人とクルマの安全は私たちの願いです。 グローバルサプライヤー 小糸製作所

【本社】東京都港区高輪四丁目8番3号 TEL:03-3443-7111
【工場】日本、USA、UK、チェコ、タイ、インド、中国、メキシコ 他
代表取締役会長 大嶽隆司(74期)

みんなでわいわいガヤガヤと

ブックカフェ 二十世紀

コーヒーと軽食、夜はワイン他
貸切パーティー承ります

鈴木 宏 (91期)

〒167-0041 東京都千代田区神田神保町1-8-10
TEL 03-3293-2505

古本売買 出張買い入れ ご相談

二十世紀記憶装置

@ワンダー

鈴木 宏 (91期)

〒167-0041 東京都千代田区神田神保町2-5-4
TEL 03-3238-7415
フリーダイヤル 0120-154-727

鈴 与 株 式 会 社

取締役社長 鈴木与平 (76期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1
TEL 054 (354) 3015 (秘書室)
京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3
ピリーヴ大森5F
TEL 03 (6404) 2100

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本 社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号
TEL 054 (262) 1111(代)
東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F
TEL 03 (3272) 4651 (代)

工業用油剤の輸出入から、皮膚保護クリームの製造まで。

株式会社 佐 鳴

会長 杉本 哲 (64期)

本社/工場 横浜市戸塚区上矢部町2091-19 〒245-0053
TEL 045(811)9311(代) FAX 045(811)9319
東戸塚分室 横浜市戸塚区前田町503-17 佐鳴ビル
海外事務所 中国 上海市
E-mail : sugimoto@sanaru.co.jp
URL : http://www.sanaru.co.jp/

お茶の心を伝える 愛 国 製 茶 (株)

代表取締役会長 馬場 泰男 (64期)

本 社 東京都新宿区西早稲田3-7-9 TEL 03-3207-1611(代表)
高田馬場店
東京都新宿区高田馬場4-12-7 TEL 03-3363-6611(代表)

建築・不動産活用、アート活動などのご相談はどうぞ

Architects Office & Gallery

一級建築士 石川雅英 (94期)

若いクリエイターの支援活動をしています

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-16
T 0 3 - 5 8 4 7 - 7 7 8 5
F 0 3 - 5 8 4 7 - 7 7 8 8
architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp
w w w . r v s t o n e . c o m

24時間! ニュースを通じて「世界平和」に貢献する

Record China 日本最大の中華圏情報サイト(日本語) Record Japan 中華圏最大の日本情報サイト(中国語)

代表取締役社長・主筆 八牧 浩行 (82期)

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館905
TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
藪下ビル6F
(TEL) 03 (3251) 2348
(FAX) 03 (3257) 0820

* 昼 2 時より夜11時まで診療*

医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 ^{ラ シ ナ アキ オ} 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩 5分
TEL 0120-376-480
FAX 03-3710-8847
〒153-0051 目黒区上目黒 2-18-13

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848
E-mail : tosu@mtj.biglobe.ne.jp

おくすりのこと、健康のこと、相談できる調剤薬局
全国290店舗以上のネットワーク

株式会社 アイセイ薬局

医療・福祉・介護で日本を笑顔に

代表取締役 岡村幸彦 (93期, 応援指導部)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2
TEL 03-3240-0222 FAX 03-6212-4193
http://www.aisei.co.jp